

第 3 回

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成29年3月17日

会議要録

平成 28 年度 第 3 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議要録

会議体の名称	平成 28 年度 第 3 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	平成 29 年 3 月 17 日 (金) 13:30~15:30	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	<p><報告事項></p> <p>(1) 地方創生加速化交付金事業「島田市緑茶化計画」の実施状況について</p> <p>(2) 平成 29 年度の取組予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方創生推進交付金事業 (藤枝市との連携事業) ・ 地方創生拠点整備交付金事業 <p>(3) 平成 29 年度地方創生関連当初予算 (案) について</p> <p><意見交換></p> <p>(4) 島田市の人口推移等について</p> <p><その他></p> <p>(5) 平成 29 年度「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」について</p>	
出席者	島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市自治会連合会 大石会長 ・ 島田青年会議所 齋藤専務理事 ・ お母さん業界新聞 静岡版 杉本編集長 ・ 島田市小中学校 P T A 連絡協議会 横田川会長 (欠席) ・ N P O クロスメディア島田 大石理事長 (欠席) ・ 島田商工会議所 岩原会頭 ・ 島田市商工会 大塚会長 ・ 島田観光協会 大久保会長 ・ 島田市農業経営振興会 渡邊部会長 ・ 静岡県立島田商業高等学校 犬塚校長 ・ 島田市校長会 服部・金谷小学校長 ・ 島田信用金庫 常務理事 飯塚 誉之 ・ 島田・榛北地区労働者福祉協議会 片山会長 (欠席) ・ 島田公共職業安定所 中村所長 ・ 島田市 染谷市長
	オブザーバー	静岡県中部地域政策局 掛澤局長 (欠席)
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 田中課長
	市関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高木副市長 ・ 濱田教育長 ・ 牛尾理事 ・ 鈴木市長戦略部長 ・ 佐藤広報課長 ・ 谷河都市計画課長 ・ 又平農林課 係長

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議次第 ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員
------	--

- （資料1）地方創生加速化交付金事業「島田市緑茶化計画」実施状況
- （資料2）地方創生推進交付金事業（藤枝市との連携事業）「ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」
- （資料3）地方創生拠点整備交付金事業「蓬莱橋周辺整備事業」
- （資料4）地方創生関連当初予算（案）について
- （資料5）島田市の人口の現状及び転入者・転出者アンケート集計結果について
- （資料6）平成29年度「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」について

【会議要録】

＜開会の挨拶＞

○市長戦略部長 皆様、御多用の所、御出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の司会をさせていただきます島田市市長戦略部長の鈴木と申します。よろしく願いいたします。それでは、定刻となりましたので、ただ今から、「平成28年度第3回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催させていただきます。それでは、はじめに染谷絹代島田市長から、御挨拶申し上げます。染谷市長よりお願いします。

○染谷市長

皆様こんにちは。市長の染谷でございます。
 本日は御多忙の中、第3回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。
 開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。
 この会議は、本日が平成28年度第3回目の開催となります。前回は、11月11日に開催しており、PDCAサイクルにおける「C」の部分であります。島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証の取組について、御説明させていただきました。
 また、意見交換の中では、島田市博物館における企画展「島田の刀鍛冶と天下三名槍」に合わせ、オール島田でお迎えの体制を整えてはどうかとの御提案をいただきました。お蔭様で、大変多くの皆様のご協力をいただき、「おもてなし」の心により体制を整えました結果、3月5日には、1万人目の来館者をお迎えすることができました。
 北は北海道・南は九州と、全国各地から大勢のお客様を島田市にお迎えすることができましたことは、大変価値があり、非常に喜ばしいことであると思っています。
 中には、初めて島田市にお越しいただいた方もいらっしゃいましたが、皆様のおもてなしが全てのお客様に伝わり、きっとご満足いただけたのではないかと確信しております。
 こうした取組の積み重ねが、「選ばれるまち」に繋がっていくものと思います。関係者の皆様のご尽力に、改めて感謝申し上げます。
 さて、本日の会議では、平成28年度中に地方創生交付金を活用して実施してまいりました事業の実施状況や、平成29年度の市の地方創生関連予算（案）について御説明申し上げた後、会議の後半は、皆様からの活動報告や、意見交換をする時間とさせていただく予定となっております。
 限られた時間ではございますが、皆様から忌憚のない御意見を頂戴したいと思っておりますので、どうか御協力いただきますようお願い申し上げます。私の挨拶

拶とさせていただきます。

本日は、よろしく願いいたします。

- 市長戦略部長 ありがとうございます。本日は島田市小中学校 PTA 連絡協議会会長、NPO クロスメディア島田理事長、島田・榛北地区労働者福祉協議会会長及びオブザーバーである静岡県中部地域政策局長様が所用により欠席となっておりますのでお知らせいたします。
- それでは、議事に入らせていただきます。議長を染谷市長にお願いしたいと思っております。

<議事（報告事項）>

- 染谷市長 依頼のあった議長を務めさせていただきます。
- それでは、議事に入ります。
- 報告事項（１）地方創生加速化交付金事業「島田市緑茶化計画」の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

- 事務局 **資料1**の説明

「島田市緑茶化計画」の実施状況について説明する。

- ・戦略推進課 事業概要
- ・広報課 コンセプトブック製作、動画製作、テストマーケティング
- ・農林課 海外市場出展
- ・都市計画課 新東名島田金谷 IC 賑わい交流拠点事業

- 染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

- D 構成員 内陸フロンティア推進区域 84ha の用地買収は誰が進めていくのか。

- 都市計画課 土地の購入については、この 84ha の中で先行して進めさせていただく部分があります。ただいまご説明させていただいた「賑わい交流拠点」、それから「堤間地区」、「牛尾山」です。堤間地区と牛尾山については、市が地元と調整させていただいて用地買収を進めており、今後、企業誘致を図る中で、企業に買っていただくという方向で進めています。賑わい交流拠点については、正式な負担区分は決まっていますが、JA 大井川が開発を進めていく部分については、基本的には JA が行い、公共の部分については、市がすすめていくことになろうかと思っております。

「堤間地区」と「牛尾山」地区についてですが、「牛尾山」は、本日配付資料の図面で見ますと、右側の緑色の部分、「堤間地区」は、上側（北側）の細長い部分となります。

- I 構成員 緑茶化計画に係る学校での取組ですが、給食の時に緑茶を飲んでいるのですが、このことは、県内で見るとやっている市ばかりではなく、給食の時に緑茶を飲めるのは非常にありがたいと感じているところです。また、本校の生徒は SL フェスタに参加し、そこで緑茶の PR を行っています。また、修学旅行で島田のお茶を PR している事例も伺っています。

- 染谷市長 島田の子供たちが修学旅行に行く時に、一煎パックを持って、島田の緑茶をPRしているような取組も「島田市緑茶化計画」の活動の中の一つに入れていただければと思います。
- G 構成員 島田市緑茶化計画、島田を緑茶で盛り上げる非常にありがたい試みであります。同時に、美味しくお茶を淹れる人を増やしていけたらと考えます。子ども向けにはお茶の淹れ方教室を学校に出向いて行ったりはしていますが、大人の中には、急須を持っていなかったり、湯冷ましをすることも知らない方もいらっしゃいますので、市外に向けて発信する前にまずは、日本茶インストラクター、アドバイザーなどの人材も上手に活用しながら、市内に普及、裾野を広げていただきたいと思います。
- 染谷市長 今、島田市には、日本茶インストラクター、アドバイザーがおり、子どもたちに向けては、美味しい淹れ方を教える機会を多いのですが、大人に向けて、お菓子と一緒に味わっていただくような催しが少ないかもしれませんので、今後の取組に生かしていきたいと思います。
- D 構成員 海外市場へ出展し、お茶のPRについて、非常にいいことだと思います。その中で、ヨーロッパ、フランスへ行かれたとのことですが、その際の、食に対する規制（ハサップ（HACCP）認証（食品衛生管理の国際標準）、トレーサビリティ（加工、製造、流通などの過程を明確にすること）への対応等について伺いたいと思います。
- 農林課 海外で販売する場合には、オーガニック（農薬や化学肥料を使わず、有機肥料で生産された農産物）でないと、ほぼ認められず、この部分が、生産者にとって最も高い障壁になっているところです。今回のような見本市の場合は、その対象国に対応し、認証を受けたお茶を持って行きます。
- 染谷市長 現在、島田市では、認証制度やJAS規格を取得するための補助金を用意しています。また、有機栽培に切り替える際の収入が落ちる部分について10アールあたり4万円、島田市単独で3年間の補助を平成29年度から新規事業として始めていきます。
- G 構成員 緑茶はオーガニックであれば海外で販売しやすい状況ですが、自分たちは農薬等を使っていなくても、他の農地で使用している農薬がかかってしまうこともありますので、オーガニックのお茶を生み出すことはなかなか難しいと思います。
そのような中でも台湾の基準は比較的ゆるい状況にあります。農薬の使用を絞っていただければ、海外で売れる状況にあるかと思います。
- 染谷市長 国も、農薬の規制緩和を進めており、農薬を切り替えることにより、できるだけ海外への輸出しやすいお茶を作っていくことが大事であると思っています。

- J 構成員 本日の資料1「島田市緑茶化計画」の3ページに「普段緑茶を飲まない県外の人に、販売するための緑茶の開発」とあります。先月、当団体で茶業者向けの懇談会を開催いたしました。その際のテーマがおよそ同じ内容のものでした。市内茶業者のほとんどが出席されており、非常に好評でしたので、今後、当団体から市へ報告、提案させていただきたいと考えております。
- 染谷市長 ありがとうございます。よろしく申し上げます。今回作成したコンセプトティーも、今後、増やしていくことを予定しております。例えば「香りのお茶」も市場性の高いお茶と考えられます。島田市は、「いいお茶」はつくっていますので、今後は、いかに売れるお茶を作る工夫と一緒に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。
- 染谷市長 それでは、報告事項(2)平成29年度取組予定について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 **資料2**の説明
地方創生交付金事業(藤枝市との連携事業)について説明する。
- 染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。
- F 構成員 今回のプロジェクトについて、資料2の目的の部分にも書かれていることは、非常に必要なことであると思っております。この分野はこれから取り組んでいかなければならない分野です。島田市でもようやく取組を開始してくれたという思いです。自力で取り組むことができる企業は、既に取り組んでいますが、地方の企業は、言葉は知っていても、どうしていいかわからない企業も多いため、できるだけセミナーを開催し、成功事例を広く周知していただければと思います。私どもとしても、全面的にご協力させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- 染谷市長 ありがとうございます。おっしゃるとおりで、まずは市内企業にむけたセミナー等を、おびサポとも連携を図りながら展開していきたいと思っております。よろしく申し上げます。それから、市役所総合案内に設置するPepperですが、島田型にカスタマイズされたものを設置する予定としています。
- 事務局 **資料3**の説明
地方創生拠点整備交付金事業について説明する。
- 染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。
- 《質疑なし》
- 染谷市長 今回整備を行う「物産販売所兼休憩所、トイレ、番小屋を含む一体的な施設」については、今年の秋頃のオープンを予定しています。また、周辺のオープンスペース、花壇等の周辺整備については、これから2年、3年を

かけて整備していくこととなります。

○染谷市長 それでは、報告事項（3）平成29年度地方創生関連当初予算（案）について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 **資料4**の説明
平成29年度地方創生関連当初予算（案）について説明する。

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。

○D構成員 平成29年度 地方創生関連当初予算（案）における新規事業の中で、「認定こども園施設整備助成事業」とありますが、何か所整備を進めるのでしょうか。

○染谷市長 島田学園付属幼稚園、島田中央幼稚園、五和幼稚園の3か所となります。

○染谷市長 他に、質疑、御意見等はありませんか。

《質疑なし》

○染谷市長 ありがとうございます。以上で、議事であります報告事項は終了となります。報告事項全体をとおして、質疑、御意見等はありませんか。

《質疑なし》

○染谷市長 ありがとうございます。それでは、4の意見交換に入りたいと思います。まず、事務局から本日のテーマとして、「島田市の人口推移」の報告をさせていただきます。併せて、今年度、この市民会議で御意見をいただき、取組を始めました、市民課窓口での「転入者、転出者アンケート」の集計結果についても、ご報告させていただきます。
その後、このテーマを元に、皆様との意見交換の時間としたいと思います。なお、島田信用金庫様からは、2月4日に開催されました「地元高校生による地方創生研究発表会」の報告をしていただくこととなっています。それでは、まず、事務局から「島田市の人口推移等」、「転入者・転出者アンケート集計結果」について、報告をお願いします。

○事務局 **資料5**の説明
島田市の人口の現状及び転入者・転出者アンケート集計結果について説明する。

○染谷市長 ありがとうございます。続きまして、島田信用金庫様から「地元高校生による地方創生研究発表会」の報告をお願いします。

○J構成員 2月4日に川根文化センターチャリム21で「地元高校生による地方創生研究発表報告会」を開催しました。目的は、地方創生に取り組む高校生の研

究発表の機会を設けるとともに地域への愛着、地域資源の再認識と魅力発信、研究成果の活用等による地場産業、観光等の活性化に寄与することとしております。当日は近隣の8校に出席いただき発表をしていただきました。島田樟誠高校が地域学習の中間報告ということで、「ゆるキャラ」、「地域カルタ」の御提言をいただきました。相良高校がフィルムツーリズム、ロケ地のデータベース化、島田工業が超伝導体を用いた研究成果の実演、榛原高校が牧之原市と榛南地域の活性化について、静岡商業がお茶の魅力発見、製茶企業とのコラボ商品の開発、島田高校がユニバーサルデザインの御提案、川根高校が川根の活性化、体験型パッケージツアーの御提案、島田商業が学校給食メニューとお茶パッケージの御提案といった発表をしていただきました。当日は約100名の来賓をお招きしました。今回、川根で開催をしたわけですが、来賓の方が大鐵へ初めて乗ったとか、家山へ初めて来たとの声が聞かれ、これも地方創生に繋がったのではないかと考えています。資料の中に新聞の切り抜きがあるかと思いますが、その中に当日の感想として、プレゼンのレベルが高くて驚いた、高校生の発表が少しでも地方創生のヒントに繋がれば素晴らしい、発表の内容が予想をいい意味で裏切られたなどの意見が出されていました。これらの発表を発表で終わらせないために、了解を得たうえで、現在、おびサポへ持ち込み、一つでも実現ができればいいと考えています。実際の動きとして、島田商業のお茶パッケージは宮美殿とのマッチングを進めています。島田高校のユニバーサルデザインについては介護施設へ商品化について御提案、島田樟誠高校のご当地カルタも介護施設へ御提案、島田工業は地元企業との連携、榛原高校は3月12日に発表会があり実現しています。相良高校、川根高校の発表については、ある方から英訳して海外へ発信したらどうかとの提案がありました。静岡商業はレモン緑茶の商品化に向けた取組を進めています。当日の参加者の皆様からのアンケートの抜粋ですが、来年も続けてほしい、地域に発信できる場ができてよかったなどの意見がありました。今回の取組は、高校生の力を地域の発展に生かしていきたい、高校生には地域を知ること、Uターンで戻ってきてもらい、定住して、子どもを産んでという地方創生の一連の流れのお手伝いができたらと考えており、来年も継続して取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○染谷市長 ありがとうございます。ただいま事務局から「島田市の人口推移等」、「転入者・転出者アンケート集計結果」の報告、それから、島田信用金庫様から「地元高校生による地方創生研究発表報告会」の報告をいただきました。それでは、今の2つの報告についての意見でも構いませんし、皆様の個々の活動についての報告でも構いませんので、自由に御発言いただければと思います。

○H構成員 島田信用金庫様から報告がありました「地方創生研究発表報告会」の件ですが、学校側の立場として、今までは学校は学校、外は外というような形であったものが、企業の皆様も、学校が思っている以上に高校生の力を評価していただき、ありがたいと思っています。また、教室の中での授業だけでなく、他の高校の取組も含め、高校生の取組の発信をしていこうとしていることが大変ありがたいと思っています。先ほどICTプロジェクトの話もありましたが、

小中高、民間の連携、特に高校については民間企業との連携が高校生のやる気にもつながり、民間企業の皆様も高校生の思わぬ発想がありがたいと言ってくれており、今後も効果的な連携をしていきたいと考えています。今、蓬莱橋にバーチャルリアリティを取り入れ、島田市の観光に繋げようという取組をスタートしています。まさに自分たちの学習、それがICTであろうが、観光であろうが、今回のような発表会であろうが、目に見える形で評価をしていただけることは、高校として非常にありがたく思っています。

私どもの学校だけでなく、普通高校は普通高校の良さ、実業高校は実業高校の良さを発表し、すぐ評価をしていただいていることは、最終的には、島田市への愛着がわき、地域とのつながりができ、人脈ができ、それが将来何らかの形でもどってくるといった循環を生み出します。実は生徒の中にも教員より先に自分でつくった名刺をもって、必ず講師にあいさつをし、名刺を渡し、その積み重ねが本人の将来に帰ってくる、そういった機会をこれからも作っていただければと思います。

○染谷市長 ありがとうございます。先生のおっしゃるとおりだと思います。ご存知のとおり、島田市には大学はありませんが、高校が5つもございます。この5つの高校がそれぞれ、研究発表などを行い、高校同士が連携し、活発に活動していただいております。これは行政にとっても非常にありがたいことですので、今後もお願いしたいと思っております。

○教育長 私も発表会を見させていただきました。当日の川根高校の発表が雨の映像だったのですが、紅葉や雪の景色を入れていただければ、より魅力の発信につながるのではないかと思います。今回の発表で終わりではなく、これを引き継いだ次の学生がレベルアップさせ、発表することで、観光や多言語化につながっていけば素晴らしいと思います。また、当日は、静岡商業のお茶の発表がありましたが、民間事業者との連携だけでなく、静岡商業と農業高校との連携といった高校間の連携が生まれれば、さらに新たな商品の開発、提案が進むのではないかと思います。もう一点、島田商業様には給食のメニューを提案していただき、実際にメニューになり、三小では試食会等も行われました。高校生の力には、今後も期待していきたいと思っています。

○G構成員 相良高校のロケ地の英訳の発表内容を聞いて思ったのですが、今、市内の看板の表記は日本語しかありません。英語表記があれば外国人がもう少し出歩けるのにと先日のシンポジウムで感じました。海外の方を呼び込みたいという割には、外国人の視点が足りないと思っていますので、今後、市内の看板の英語表記を高校生と一緒に取り組みができれば、地元の愛着、観光、英語とつながっていくのではと思います。もう一点、ICTプロジェクトに関わるものですが、宇治市では、高校生がゲームを作り、まちのプロモーションにつなげ、市内外へ発信しています。国の「クールジャパン政策」のなかでも、ゲームは位置付けられており、ICT×ゲーム（プログラミング）×高校生＝地方創生のような感じで取り組むことができると面白いのではないかと思います。

- 染谷市長 ありがとうございます。看板（サイン）の英語化についてですが、先般、オリンピック・パラリンピックの合宿誘致の関係で、モンゴルの方々がいらっしやり、覚書も締結をしました。今後、市内の看板（サイン）をユニバーサルデザイン化していく、英語表記をしていくように考えているところです。また、ICTとゲームを作りたい高校生と地方創生を絡めた取組を進めていくためには、頻繁に高校生と話し合う場を持っていくことが重要であると思っています。様々な提案をいただいております、連携も進んでいるかと思っておりますので、今後ともより一層の連携をお願いいたします。
- A 構成員 藤枝市との連携事業の関係ですが、先ほど、島田商工会議所会頭、島田商業の校長先生、テクノサイトの会長から心強いお言葉をいただきました。大きいものに巻かれないようにしてください。それから、緑茶化計画の多言語ミュージックビデオの撮影は大津の智満寺で行っていただきました。せっかくいいものを作っていただいたので、多くの方に見ていただけるように、ホームページだけでなく、効果的に発信をしていただくようお願いしたいと思います。その先には、私たち地元が智満寺を市内の観光名所として盛り上げていきたいと考えています。
- 染谷市長 ありがとうございます。ミュージックビデオは、配付しているカードのQRコードで読み込むことができます。おっしゃる通り、せっかく作ったものですので、多くの方に見ていただけるようにしていきたいと思っております。
- B 構成員 本日皆様からお話を聞かせていただく中で、「連携」という言葉が多くでできました。実は私どもも、先般開催しました「30歳の同窓会」でお手伝いをさせていただきましたが、様々な団体の方と連携しなければならないと思っています。どう連携していいのかが分からないというのが、今の我々の団体の課題でもあります。来月、関係諸団体の皆様と「連携」についてディスカッションさせていただこうと計画しています。私たち青年会議所も臆さずに皆様にお声かけさせていただき、「真の連携」について考えていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。
- C 構成員 先ほど島田商業高校の校長先生からお話があったとおり、「顔の見える関係」づくりが必要であると思っております。本日の資料にもありました転入者アンケート結果の中でも、女性が住む場所を決めた理由として「以前住んでいた」という意見が多かったこと、母親になったら、母親の近くに住むのが一番と考える女性が多いのではないかと感じました。そう考えたときに「人とのつながり」が重要であり、親以外で、自分の進むべき道を示してくれた人のところに戻りたいという点からも「人とのつながり」は大切であると思っております。もう一点、ICTの人材育成事業についてですが、今の子どもたちは、私たちが子どもの頃とは全く違う環境におかれています。今回のプログラミング教室を導入することにより先生への負担が増え、子どもたちと接する時間が減るのではないかと心配しています。もちろん、ペッパーを使ったプログラミング教室にもメリット、デメリットがあるかと思っております。それが見えないから不安になると思っておりますので、親にこの効果を伝える機会を設けていただければと思います。島田市は「顔の見えるICT」を進めていただければと

思います。

○教育長

メリット、デメリットの話がありましたが、メリットは大きくふくらまし、デメリットはだんだん小さくしていくことが重要であると思っています。先生の多忙化のことを心配していただいたことは大変ありがたいと思います。ICTによって、今まで先生が何時間もかけて模造紙に書いていたものが、タブレットで写真をとってプロジェクターで投影することにより、時間短縮が図られるといったメリットがあり、今は、先生自身がスキルを磨いているところです。

○E 構成員

高校生による地方創生研究発表報告会に私も行かせていただきました。その中で高校生が言っていたのが、「地域の人たちの意識が薄い」ということでした。地域のいいところを見つけるには、そこに住んでいる人よりも、第三者の意見をとりいれるという点については勉強になりました。将来を担う子どもたちが自分たちの地域を知り、自分なりの意見を持つということは非常に重要であると考えています。私たち島田市商工会でも、人材育成を目的とし、「ジュニア・エコノミーカレッジ in 島田」を実施しています。これは中学生、高校生に「商売」、「経営」の在り方について学ぶ機会とし、会社の設立、融資、商品開発、販売といった一連の流れの中で、経営の体験をします。この中で、子どもたちは、融資を受けるために自分の考えたことを、プレゼンをするわけですが、1回だけでなく、2回、3回とプレゼンをして、やっと融資につながった時の子どもたちの喜びは今まで体験したことのないものであるかと思っています。このプレゼンを通するまでに、自分の意見を持ち、みんなでもめながら話し合うという過程は、商売だけでなく、大人になってからも、人生の糧として非常にいい経験になっていると思います。この取組は島田市の教育委員会からも評価していただき、文部科学省からも表彰を受けました。次世代を担う子どもたちが10年後、20年後と成長したとき、今回の取組を通じて、人が人を思う気持ちを小さい時から経験していくということ、また、自分が苦労したときに思い出してもらい、乗り越える力となる今回のような取組は非常に大切であると思いますので、今後とも続けていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

○I 構成員

島田市には「素敵な人が住んでいる」ということを伝えることが重要であると思っています。以前、PTA会長とそのようなお話をし、地域の方を呼んでいただき、「夢みらい学校」という題名で、6年生を対象にキャリア教育を実施しました。その中には九州から引っ越してきて、今、川根に住んでいる方や、結婚で東京から川根に来て、様々な取組をされている方や、木都島田ですので、金谷で製材所をやっている方などに来ていただき、非常に熱い思いを子どもたちに伝えていただきました。これは「夢育・知育」の取組として実施しましたが、非常にいい取組でしたので、今後も続けていきたいと思っています。

○K 構成員

転入者のアンケート結果の中で、女性が地元に戻ってきたいという数が多いことに驚いています。さらに細かく見ていくと、医療や子育てのサポートに期待しての転入、転出が意外に少ないということです。そこから、島田市に

入ってくる女性の多くが、島田市の良さを分かっているということが読み取れます。それからもう一点、学校基本調査という統計を見たとき、県の高校生の大学への進学率の平均が 53%台、就職が 22%となっています。ところが、島田市は高校生の就職率が 40%を超えています。ということは、これだけ人材不足が叫ばれている中で、島田市だけは県平均の倍近くが、地元で就職してくれていることになります。併せて、先ほどのアンケート結果から、女性が地元に戻ってきたいという意識が強いということで、県内でも特異な地域であり、将来性も十分にあるのではないかと考えています。こうしたことを考えたとき、キーワードは「女性」と考えられます。安倍総理が「一億総活躍社会」と言っています。育児をしながらも、働きたいという女性は多いですから、島田市が全国に先駆けて、女性が働きやすい環境を、企業等の協力も得ながら、「島田市基準」というものを設け、脚光を浴びるほどまでになれば、さらに女性が島田市に来たいという気持ちにも繋がり、島田市の地方創生にも繋がるのではないかと考えています。もう一点、「女性」というキーワードということで、この地域には大学がないという話がありましたが、作るのであれば女子大がいいのではないかと考えています。または、海外の有名大学や専門的な大学などが誘致できれば、若い人の集積につながるのではないかと考えています。女性が働きやすい環境があり、正社員として働くことができれば、人口増に繋がっていくのではないかと考えています。

○染谷市長 最後に非常にいいお話をきかせていただきました。まだまだ皆様からご意見を伺いたいわけですが、時間も迫ってきております。それでは、最後に次第の 5 番目、その他として、「平成 29 年度 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料 6の説明
「平成 29 年度 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について」説明する。

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

《質疑なし》

○染谷市長 ありがとうございます。皆様の御協力により、本日の議事につきましては、無事終了いたしました。誠にありがとうございました。
それでは、会議の進行を事務局へ戻します。

○市長戦略部長 ありがとうございます。次回、市民会議は平成 29 年 8 を予定しておりますが、4 月に入りましたら、改めて、当会議への参画や、構成員の確認等をさせていただきたいと思っております。本日は、御多用の中、御出席いただきまして、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして「平成 28 年度第 3 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。